

L'aile d'Howl



いよいよ全国高校選抜大会の出場
チームも決定しました！大会に
向けてみんな頑張り！！

【ライル・ドウル・ホウルの翼(伝説)】

2012年2月号



1

ドイツのハンドボール指導を学べ

去る1月20日～23日の3日間に渡り、東京都赤羽にある味の素ナショナルトレーニングセンター(NTC)にて日本ハンドボール協会主催による「ハンドボールジュニア指導者講習会」が開催されました。これは、NTSのU-12からジュニア(高校生世代)への一貫指導という技術委員会の方針を受け、国際ハンドボール連盟及び欧州ハンドボール連盟のインストラクターであるKlaus Feldmann氏(ドイツ)を招いて行われたものです。Feldmann氏は、現在日本ハンドボール協会が手本としているドイツの一貫指導システムを作成したメンバーであり、世界各国を回ってジュニアまでの一貫指導の講習を担当されているそうです。今回初めてNTCに足を踏み入れた編集長ですが、その設備の素晴らしさにびっくり！日本代表の練習風景で見たことがあるハンドボールコート2面も、実はオリンピック向けと世界選手権向けに異なる材質で作られていました！さて、3日間に渡る講習会は、スライドを見ながらの講義形式と、実際にトレーニング方法を行ってみる実技の2部構成で行われました。実技は、同じくコーチ講習会のために集まった大学生たちがパフォーマーを務めてくれました。



今回の講習会で学んだことの一部を紹介すると、ドイツではミニハンド(7～8歳)から7人制ハンドに移行する段階(9～10歳)では、マンツーマンDFから始めるのだそうです。DFの目的は「相手のボールを奪う」ことなので、常に動いてボールを取りに行く姿勢を培うそうです。その後年齢的な段階を踏んで、9Mライン外でのマンツーマン、ピストン動作を追加したマンツーマンなど、最終的にゾーンDFの形になるまで、基本となるマンツーマンDFを崩さずにトレーニングするそうです。なるほど、非常に理にかなった教え方です。(先日、少年団の練習の際に、子どもたちに「DFの目的は何か？」との質問をしたところ、「相手にシュートを打たせないこと」という答えが返ってきました。確かに、6-0DFのようなゾーンDFから教えてしまうと、本来の目的を見失ってしまいますねえ) ちなみに、

ドイツではボールを保持していないと選手交代ができない、すなわちDFのスペシャリストを作らない、というルールも設けているそうです。みんながDFをやらなければならない状態にしているんですね。

日本の部活動システムとは違い、地域ごとのクラブチーム単位で活動しているドイツ。そのため、小学生～中学生～高校生までの長いスパンにおいて、同じコーチが継続的に指導できることも、ドイツの強みかもしれません。今回の講習会で学んだ指導方法の良い部分を、日本の少年団や部活動に合った形で取り入れていけるよう工夫したいと思いました。また、ドイツには、国全体で約10,000のクラブチーム、80万人のプレーヤーが登録されているそうです。国の規模は違えども、日本でももっと普及に取り組んでいきたいと思いました。



震災後に中止されたこの講習会に、再度来日を決めてくれたFeldmann氏に心より感謝したいと思います。

全国高校選抜大会の出場チームが決定！

1月27日～29日まで、福島県石川町にて、高校選抜大会東北予選会が開催され、前号でもお伝えしたとおり、男子は不来方高、盛岡一高、女子は不来方高、盛岡南高の4校が岩手県代表として、東北ブロック枠での出場権をかけた戦いに挑みました。まずは各県第一代表における予選リーグにおいて、男女不来方高はともに1位で通過。第1・第2代表決定戦において



も、それぞれ福島工高(福島県)、大曲農業(秋田県)を破り、堂々の東北ブロック第1代表として名乗りを上げました！その勢いに続きたい男子・盛岡一高は、各県第2代表トーナメントを見事1位で通過し、東北ブロック第4代表枠をかけた一戦に臨みますが、27-17で湯沢高(秋田県)に敗退し、惜しくもブロック代表の座を勝ち取ることができませんでした。

また、女子・盛岡南高も各県第2代表トーナメントにおいて決勝まで進出しますが、決勝において21-15で湯沢高(秋田県)に敗れ、東北ブロック枠での出場はなりません。従って、盛岡一高、盛岡南高は開催地枠での出場が決まりました。出場が決定した岩手県代表4校は、3月末までしっかりと練習に励み、今回出場できない高校の分も東北そして岩手県代表として、上位入賞を目指して頑張ってください！



花巻市総合体育館アネックスで大崎カップ開催！！

恒例となった第17回岩手県中学校大崎カップハンドボール大会が、2月4・5日の両日、花巻市総合体育館にて開催されました。久々に花巻市での開催、しかも昨年12月にオープンしたばかりの花巻市総合体育館アネックスでの記念すべき初めてのハンドボール大会でした。では地元中学校の戦績をお伝えしましょう→(男子)花巻中：見前中との初戦を26-14で勝利し、続く黒石野中戦も16-13で突破。ロースコアな展開でしたが、DFを頑張ったのが結果につながりました。迎えた準決勝、県新人戦優勝の見前中と対戦。積極的なDFからパスカット、速攻を狙いますが、ノーマークでのシュートミスが目立ち、点差を縮めることができません。惜しくも25-17で敗退し、3位となりました。なお、阿部航磨選手(花巻クラブジュニアOB)が優秀選手に選ばれました。花巻北中：厨川中との初戦、前半22-1と大差をつけられながらも、1年生中心のメンバーで最後まで戦い抜きました。(女子)花巻中：紫波一中との1回戦を26-10で勝ちますが、続く矢巾中との戦いではパスミス、シュートミスが出てしまい、22-11で負けてしまいました。DFを頑張ってマイボールにしたのを得点に結び付けられなかったのが残念でした。来年度は是非ベスト8の壁を破ってほしいものです。花巻北中：1年生のみで臨む最後の試合、滝沢南中との初戦は21-12で破れ、念願の初戦突破はなりませんでした。2年生となる来年度の活躍に期待したいと思います。



男女とも決勝戦は見前中 vs 矢巾北中の顔合わせとなり、いずれも見前中が県新人戦優勝者の意地をみせ、今大会も男女アベック優勝を飾りました。見前中は、この勢いを保って3月の全国大会に臨んでほしいですね！

なお、今大会は1月から急激に猛威を奮ったインフルエンザの影響で、練習不足、メンバー不足のチームがほとんどでした。その中でも、優勝した女子・見前中に対し、2年生メンバーを欠きながらも前半リードした大宮中や、コートプレーヤー4人のみで2試合戦った女子・厨川中の頑張りがとても印象的でした。

特に、厨川中女子キャプテン菊地理美選手(花巻クラブジュニアOG)は、小柄ながらも積極果敢にゴールを狙いにいき、奨励賞を受賞しました。やはり、ひたむきに頑張る姿は感動を与えて

くれますね。まだまだ寒い時期が続きますが、風邪やインフルエンザに負けるな、中学生ハンドボーラーたち！



L'aille d'Howl(ライル・ドウル)
2012年2月号
2012年2月25日発行

発行：花巻市ハンドボール協会
Special thanks to: リトルハンドさん
岩手ハンドボール応援ページさん